

## 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
102-30	高等学校	水産	水産海洋基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
201・海文堂	水産・701	水産海洋基礎		

## 1. 編修の基本方針

水産や海洋の各分野における共通基礎科目として、関連する学習の導入に当たるといった視点から、水産業や海洋関連産業が、食生活をはじめ国民生活の中で果たしている意義や役割を理解するとともに、関連産業に従事する職業人として必要となる基本的な技術について身に付けることをねらいとした。

また、水産や海洋を広い視野で捉え、生徒の興味・関心や目的意識を高めるとともに、意欲を喚起することにも留意した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 海のあらし	河川、湖沼等、陸水も含め、海洋資源や物資の輸送等、海の人類への貢献や役割の具体例、基本的な海洋関連産業を含めた国際協調等について、偉人の例も含めながら、概要を理解させる。(第5号)	1 頁目～ 14 頁 3 行目
	海と人間生活の関わりの歴史からなる海洋文化、日本人の水産物を中心とする特徴的な和食の文化、水産物に含まれるタンパク質や脂質等の成分が食生活に果たす意義について理解させる。(第5号)	14 頁 4 行目～ 24 頁目
	磯採集や釣り等で採集した身近な生物の飼育や観察等の体験的な学習を通して、生態系や生息環境等、海や陸水の生物の特性について理解させる。(第4号)	30 頁 21 行目～ 36 頁目
第2章 水産業と海洋関連産業のあらし	船の種類と役割、構造、また、航海、機関、通信に関する基礎的な事項及び操船について、実習船や地域の船と関連させて取り上げ、我が国における船の歴史や船が支えた文化、船の安全な運航、海上輸送等につ	37 頁目～ 52 頁目

	いての概要を理解させる。(第2号)	
第3章 基礎実習	身近な海や内水面での磯採集、釣り、各種網による生物採集を通じて、地域や時期による特徴的な水産・海洋生物の生物相や生態に興味を持たせる。(第1号)	123 頁目～ 138 頁目 14 行目
	地域や時期に応じた水産・海洋生物の飼育・観察を通じて、対象生物の形態及び生態との関連等に興味を持たせる。(第4号)	138 頁目 15 行目～ 143 頁目
	地域や時期に応じた水産物の調理・加工について、基礎的な知識と技術を身に付けさせる。(第2号)	144 頁目～ 152 頁 9 行目
	カッターの実習を通じて、基礎的な知識と技術を習得させるとともに、集団の一員として必要な協調性、体力、気力を養い、海と船に対する理解を深めさせる(第3号)。	152 頁目 10 行目～ 159 頁 11 行目
	海上において、身体を安全に処する能力を養うとともに、強健な心身の発達を図り、海に対する理解と関心を深めさせる。(第1号)	170 頁目 19 行目～ 172 頁 15 行目
<b>3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色</b>		
<p>コラムやサイドノートを豊富に導入して、水産や海洋に関する新たな情報や身近な話題を提供し、また、課題を投げ掛け、興味・関心を持たせるようにした。さらに、節末には「学習課題」、「探究活動」を設け、探究的学習の充実を図った。</p>		

別紙様式第5-2号

(日本産業規格A列4番)

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
102-30	高等学校	水産	水産海洋基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
201・海文堂	水産・701	水産海洋基礎		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ① 水産業や海洋関連産業及びこれらを支える技術が、それぞれの地域及び我が国における社会の中で重要な役割を果たしていることを鑑み、これらの分野を充実させ、課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力の育成を図った。
- ② 地域の水産加工場や流通現場の見学等を通して HACCP（危害分析重要管理点方式）等の食品の安全管理体制に関する分野を充実させた。また、水産物の健康的価値を認識させるとともに、魚食文化の必要性を重視し、伝統や文化に関する内容の充実を図った。
- ③ コラムやサイドノートを導入し、水産や海洋の新情報の提供や課題を投げ掛け、興味・関心を持たせるようにした。また、節末には「学習課題」、「探究活動」を設け、探究的学習の充実を図った。
- ④ 実験・飼育・観察・実習等を取り入れ、問題解決的学習や言語活動の充実を図るとともに、安全教育の充実も図った。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 海のあらまし 第1節 日本の海, 世界の海	(1) 海のあらまし ア 日本の海, 世界の海	1 頁目～ 14 頁目 3 行 目	6
第2節 海と食生活・文化・社会	イ 海と食生活・文化・社会	14 頁目 4 行 目～ 24 頁目	6
第3節 海と環境	ウ 海と環境	25 頁目～ 30 頁 20 行 目	4
第4節 海と生物	エ 海と生物	30 頁 21 行 目～ 36 行目	5
第2章 水産業と海洋関連産業のあら まし 第1節 船と暮らし	(2) 水産業と海洋関連産業の あらまし ア 船と暮らし	37 頁目～ 52 頁目	11
第2節 とる漁業・つくり育てる漁 業と資源管理	イ とる漁業・つくり育てる 漁業と資源管理	53 頁目～ 77 頁 25 行 目	12

第3節 水産物の流通と加工	ウ 水産物の流通と加工	77 頁 26 行 目～ 104 頁目	13
第4節 わが国の水産業と海洋関連産業	エ 我が国の水産業と海洋関連産業	105 頁目～ 121 頁目	11
第3章 基礎実習	(3) 基礎実習	123 頁目～	
第1節 水産・海洋生物の採集	ア 水産・海洋生物の採集	138 頁 14 行 目	8
第2節 水産・海洋生物の飼育	イ 水産・海洋生物の飼育	138 頁目 15 行目～ 143 頁目	7
第3節 水産物の加工	ウ 水産物の加工	144 頁目～ 152 頁目 9 行目	7
第4節 海洋実習	エ 海洋実習	152 頁目 10 行目～ 174 頁目	50
		計	140